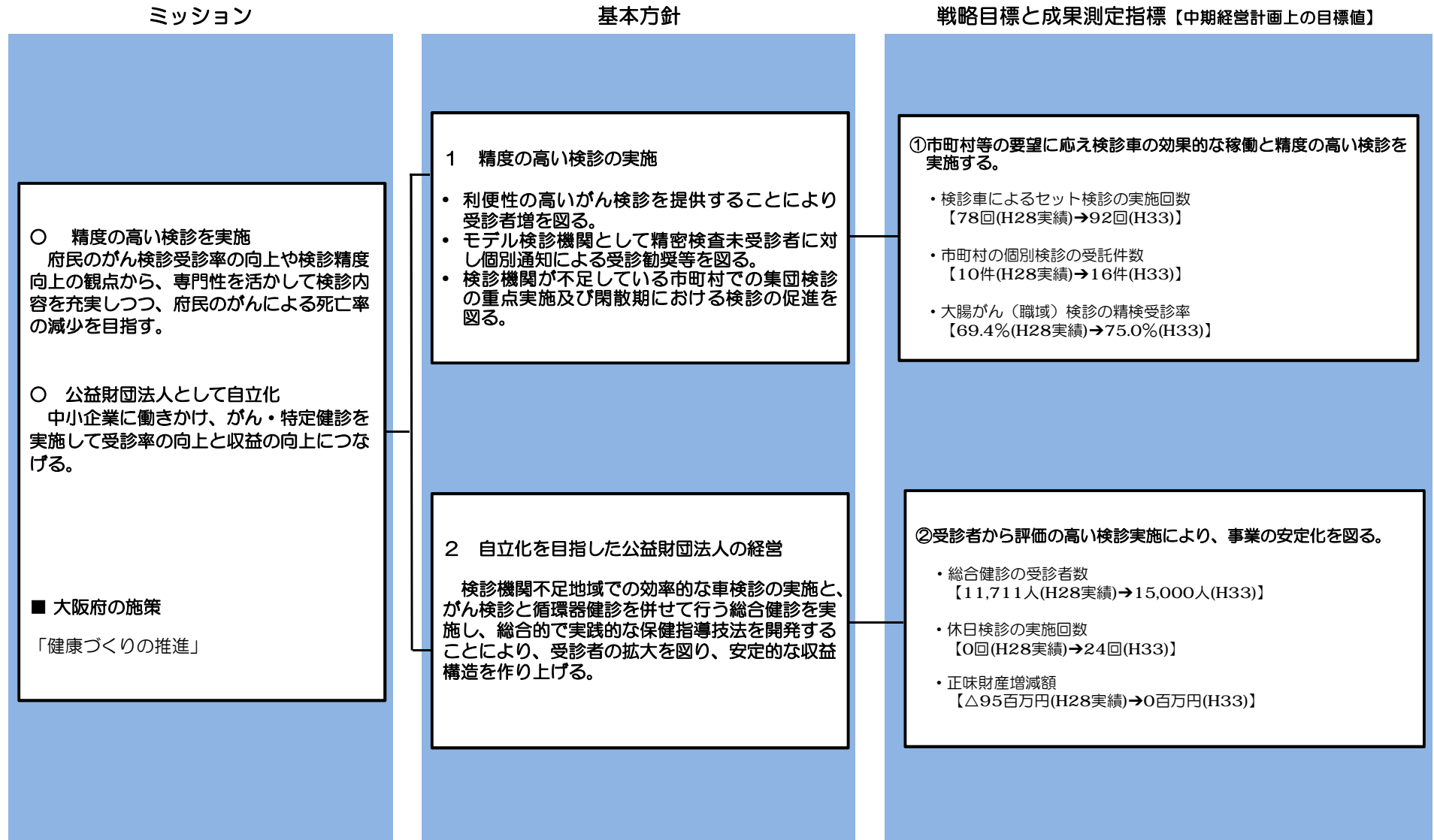


法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
作成（所管課）	健康医療部保健医療室健康づくり課

○ 経営目標設定の考え方



○ H29年度の経営目標達成状況及びH30年度目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (H29)	H28実績	H29目標	H30目標	ウエイト (H30)	中期経営計画 (H29～H33)		H30目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載	
						実績(見込)			H30目標	最終年度目標		
② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	総合健診の受診者数		人	30	11,711	13,300	14,000	30	14,000	15,000	中期経営計画 H30目標値	
						13,663						
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)										具体的活動事項		
最重点とする理由、 経営上の位置付け	<p>○当財団は、平成33年度において収支バランスの均衡を図ることを目指した第2期中期経営計画を策定し、達成に向け事業を進めているが、最重点とした「総合健診」は公益目的事業であるがん予防検診事業の事業収益のうち約30.6%(28年度決算・収益の内最大)を占めており、第2期中期経営目標の達成に与える影響が大きい。</p> <p>○また、当財団の設立目的は、府民の死亡原因の上位を占めるがんと循環器の予防を目指した事業を推進することであるが、「総合健診」は、まさにこの目的に沿った事業であり、その推進は府民の健康の保持・増進に寄与するものである。</p>										<p>○トップセールスをはじめ営業活動の強化による新たな団体の獲得</p>	
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	<p>○受診者数の多いある自治体が毎年入札を実施しているが、新しい検診機関が参加することにより年々単価が低下している。公益目的事業として健診の質(精度)を確保しつつ、他の健診機関との価格競争を行わざるを得ない環境になりつつある。また、当該団体に代わる規模の大きい新規団体を確保することが求められている。</p> <p>○目標を達成するため、小規模団体の検診を受託しているが、団体数が増加すると団体毎の受入条件が多くなり、職員では対応しきれない状況になっている。そのためにはシステム変更が必要であるが、多額の経費を要するためシステム改修ができない現状がある。</p> <p>○施設構造が人間ドックのような検査項目の多い健診に対応しておらず、受診者が多くなると各所において待ち時間が発生するため、効率良く受診者を移動させることが課題である。</p>										<p>○平成29年2月に「人間ドック健診施設機能評価」の認定を受け、同年5月には「優良人間ドック・検査施設」として一般社団法人日本病院会及び公益社団法人日本人間ドック学会の連名指定を受けた。こうした認定及び指定をもとに、積極的に各健保組合に営業活動を行う。</p> <p>○顧客の定着を図るためのダイレクトメール等の取組み</p> <p>○午後検診の実施による受診者の確保</p> <p>○大規模団体職員のがん検診など入札制度の効果的な対応</p> <p>○インターネット等を活用し、当センターの特色を積極的に啓発するとともに、インターネット予約システムを通じた新たな受診者の増加を図る。</p>	
活動方針	<p>○第2期中期経営計画において、策定から5年後(平成33年)の財団のあるべき姿として、</p> <p>①府民をがんから守る、精度の高い検診機関 ②府民の健康づくりを支援する分析・研究機能の発揮 ③経営の自立化</p> <p>を掲げている。全職員がこの目標の達成を目指し、公益財団法人としての使命を認識し、府民の健康増進のため、総合健診をはじめ精度の高いがん検診と循環器健診を推進するとともに、効率的・効果的な検診(健診)を実施することにより、経営の抜本的改善を図る。</p>											

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (H29)	H28実績	H29目標	H30目標	ウエイト (H30)	中期経営計画 (H29~H33)		H30目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績(見込)			H30目標	最終年度目標		
① (大阪がん循環器病予防センター)市町村等の要望に応え検診車の効果的な稼働と精度の高い検診を実施する	検診車によるセット検診(乳がん・子宮頸がん)の実施回数		回	15	(78)	80 81	83	15	83	92	中期経営計画のH30目標値	・市町村が検診計画を作成する前に、実施可能であることのPRを行う。 ・午前中から子宮がん・乳がんのセット検診を実施することにより、受診者の増加を図る。
	市町村の個別検診の受託件数		件	15	(10)	12 12	13	15	13	16	中期経営計画のH30目標値	・個別検診の意向のある市町村に対し、積極的な働きかけを行う。
	大腸がん(職域)検診の精検受診率 (精検受診者数/要精検受診者数)		%	15	(69.4)	70.0 (70.4)	71.0	15	71.0	75.0	中期経営計画のH30目標値	・職域における大腸がん検診の精検受診率が国の定める許容値(70%)に達していないため、未受診者への個別の受診勧奨の一層の推進と、他の検診機関での受診状況の把握の徹底を行う。
② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	休日検診の実施回数		回	10	-	5 5	17	10	17	24	中期経営計画のH30目標値	・土曜日の子宮がん・乳がん検診の実施、オプション検査の拡大について、市町村等へのPRを積極的に行う。

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	正味財産増減額		百万円	15	△ 95	△ 42 (△42)	△ 30	15	△ 30	0	中期経営計画のH30目標値	・収益確保のための取組みとして、総合健診受診者数の増、検診料金の改定、土曜検診の実施、オプション検査の拡大、午後検診枠の拡大、車検診の受診者数の増を図るとともに、インターネット予約システムを導入し新たな受診者の増加を図る。 ・経費削減の取組みとして、常勤職員の変更活用、入札や価格交渉による支出額削減、医療材料費の削減、時間外手当の削減を図る
-------------------------------	---------	--	-----	----	------	---------------	------	----	------	---	---------------	--

【凡例】

- ・☆はH30からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・()は当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

CS調査の実施概要

○ 平成29年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
大阪がん循環器病予防センターにおける健（検）診の満足度	受付で調査票を配布し、受診者が自書のうえ回収箱に投かん。	・施設検診受診者	502人	平成29年10月

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組	平成30年度にめざす状態
<ul style="list-style-type: none"> ・受診者は40歳代、50歳代、60歳代の順に多く、全体の76.3%。性別では、女性が56.0%、男性44.0%の割合。 ・受診した健（検）診で胃がん検診が最も多く、受診者全体の49.4%を占める。また、毎年受診しているが最多で、受診者の43.1%を占める。 ・検診スタッフの言動と態度について、満足89.0%、ほぼ満足6.4%で、合わせて95.4%、前年に比べ0.2ポイント増加 ・診察、健診等の十分な説明については、満足90.8%、ほぼ満足6.0%で、合わせて96.8%で、前年に比べ0.9ポイント増加 ・健診にかかった時間については、「思ったより早く受診できた」57.0%、「普通」36.2%、「思った以上に時間がかかった」6.8%で、「思ったより早く受診できた」が前年より2.5ポイント増加、「思った以上に時間がかかった」が0.8ポイント減少 ・次回もセンターを受診したいと思うかについては、94.6%の受診者が「次回もセンターを受診したい」と回答 ・当センターに対する要望、改善点については、「女性医師の配置」、「空調」、「待ち時間」、「説明や対応の仕方」の順に改善を望む声が多かった。45.1%は「感謝・満足・励まし」と回答。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を職員に周知し、各所属において満足していない原因について認識するとともに改善方策について討議を行い、改善できるものについては、直ちに対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別に記述された意見等を分析し、改善点に結び付けていくとともに、引き続き満足度を高めるよう努力する。

○ 平成30年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
大阪がん循環器病予防センターにおける健（検）診の満足度	受付で調査票を配布し、受診者が自書のうえ回収箱に投かん。	・車検診受診者	500人	平成30年10月